



# 新生兵庫友の会

発行:新生兵庫友の会  
〒650-0023  
神戸市中央区栄町通  
4-2-18 キンキビルデ  
ィング5階  
TEL:(078)362-1700  
FAX:(078)362-1706

きずな No. 78

平成20年9月22日(月)

ホームページ <http://www.idotoshi.net> Eメール [ido@idotoshi.net](mailto:ido@idotoshi.net)

## 永楽館

兵庫県知事 井戸 敏三



8月初旬、但馬の出石に近畿では現存最古の芝居小屋「永楽館」が復活しました。芝居小屋としては実に44年ぶりの復活。「柿落大歌舞伎」では上方歌舞伎のホープ片岡愛之助さんが座頭を務め「三番搜」などが披露され大いに賑わいました。この永楽館復活をまち興しの起爆剤にと、出石で様々な活動をされている皆さんに集まっていただいて、さわやかトークを実施しました。皆さんには、これからも地域の活性化に活躍いただくことを期待します。

## 敬老の日に思う

(神戸市) 垣尾 宗一

本年の「敬老の日」は9月15日であります。「国民の祝日に関する法律」によると、毎年9月第

3月曜日とし、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」と規定されています。

即ち、全国民が均しく敬老精神を養い、高める目的で昭和41年に「敬老の日」が制定されたのであります。

このような素晴らしい「敬老の日」が制定されたのは、日本国民の敬老精神の現われであり、世界でも例を見ないのではないかと思います。

しかるに今日、老人にとって最も大切な「年金と医療」が大きな社会的、政治的問題に発展し、老人を不安のどん底に落とし入れています。

まず、年金の適正な支給であります。

社会保険庁のずさんな事務処理により、年金の適正な支給が困難な状況にあります。政府は、年金記録の再調査など何かと弁明していますが、結局、弱い老人が泣寝入りする心配があります。

次に、後期高齢者医療制度であります。

医療費の増大に伴い、政府は、医療制度改革の美名にかくれて「国民健康保険」から後期高齢者を除外し、さらに「保険の検診や指導」も打ち切られました。将に、老人の長寿を阻止するが如き、冷たい仕打ちに心底より怒りを覚えるのであります。

老人にとって「年金と医療」は、毎日の生活と命を守るためにも絶対見逃すことができない重要な問題であります。

一日も早く、日本国民がこぞって祝福する穏やかで平和な「敬老の日」が迎えられるよう心より念願しております。

## 同好会の奥飛驒旅日記

(神戸市) 山崎 五男

新生兵庫友の会・旅行同好会は、毎年1泊2日のバス旅行を実施し、何時も多数の方々にご参加していただいている。7回目の今年も、5月30日・31日の2日間、新緑の信州奥飛驒を訪ね、ほっこり楽しい旅を重ねることができた。

30日8時、三宮観光バスターミナルに集合する。私も早く着いたつもりだが、既に見慣れた大上観光バスと運転員・ガイド・添乗員と運営委員等は準備を整えて待機している。天気もよく、38名全員集合を確認し予定通り8時30分、信州に向かって出発した。

高速道路を走るときは、早速、酒・ビール・ジュース・お茶・お菓子が配られ、酒盛りが始まり、飲み放題のせい、バスのトイレ休憩回数が頻繁になる。日頃の仕事や日常生活から離れて、旅の始まりである。

昼食は、美囊関物産館で、きのこの「まいたけ料理三昧」である。ご承知のとおり「まいたけ」にはコレステロール低下、血圧降下、免疫力向上等の効果のある機能性成分(βグルカン・デルペノイド)を多く含んでいるとか。

高速を順調に走り続け、新穂高温泉に着く。そこから「日本初の2階建ロープウェイ」に乗る。途中、視界ゼロの雲海を抜け、2200mの西穂高口駅の展望台(写真)では槍ヶ岳など穂高連峰を一望し、残雪に触れることもできた。



宿の平湯プリンスホテルでは、恒例の宴会・カラオケ・ビンゴゲームに花が咲き、麻雀グループは夜を徹し、温泉好きの人は3・4回入浴、3箇所の家族貸切露天風呂を探検された方もおられたとか。

翌日の乗鞍スカイライン行きは、土砂崩れの復旧工事で通行止めのため中止した。そのため、朝の出発時間を遅らせ、高山街並見学をゆっくりし、浮いた費用は高山のお土産を皆さんにお渡しできた。

私は、高山観光は3回目によく知っていたつもりだが、今回ゆっくり時間があり、高山陣屋内の案内者の説明を聞きながら、雪深い奥飛騨の役所の実態、住民の厳しい日常生活ぶり、百姓一揆の悲惨な話や証文には心を痛めた。

2日目の昼食は、高山グリーンホテルのバイキング料理で、何時もなら2回程度だが、今回は4回も皿を持って回り、我ながらよく食べたものだと感心した。土産物売場も広く色々な物があり、買い過ぎたのは、私だけでないようである。

そこからは帰路一筋、バスの残りものを飲み干し

たり、ヤス・キヨのビデオを見たり、居眠りをしながら、道路工事で少し遅れたが、まだ明るい6時30分頃には無事三宮に到着し、来年の再会を約して三々五々に家路に向かった。

さて、今回の旅を振り返っていると、もう一度奥飛騨に行きたい気持ちになった。その要因を考えると、楽しい旅の条件である、仲間・食物・温泉・自然・歴史・情報とお天気が良かったためと思う。



第一は、仲間である。7回も旅を重ねると、参加者の気心も分かり、気楽にお話ができるし、歌や踊りの上手な人は宴会を盛り上げ、お酒や麻雀仲間ができた。ご夫婦で参加された6組の仲の良い間柄を垣間見てほっこり和んだ。運転員やガイドさんや添乗員の心配りも大変素晴らしかった。

第二は、食物である。地域の特産品を生かし、奥飛騨で一番よく似合うものを食べることである。飛騨牛のステーキ、赤カブの漬物、ホーバ味噌、まいたけ料理のフルコースなどが美味しかった。

第三は、温泉である。古くから日本人は温泉が大好きで、武田信玄が結核治療や多くの高名な文人が出筆に利用された由緒正しい平湯温泉である。正真正銘の掛け流しのお湯で、宿泊したホテルは温泉にも力を入れ、家族10人でも利用できる露天風呂を3箇所も整備しており、温泉が堪能できた。

第四は、自然である。地名の飛騨の語源は、高い山が袴のひだの様に連なっていることから付けられたらしい。自然豊かと云うより自然のド真ん中である。新穂高ロープウェイで山頂に上るとき、途中何も見えない雲海の中に入り、それを抜けると穂高連峰が一望できるなど、自然が造形した最高の眺望を望むことができた。奥飛騨の夜や翌日には、宴会で誰かが歌った、雨に濡れた「奥飛騨慕情」も体感できた。

第五は、歴史文化である。奥飛騨は、古くから木材や金が産出され徳川幕府の天領地として栄え、大きな権力と財源を元に巨大な高山陣屋が設けられ、厳しい徴税による百姓一揆の歴史物語もあった。一方、左甚五郎など山車や神社仏閣の彫刻名人を育て

た工芸技術、町並み商店街や宮川沿いの朝市の商売は、今も町民文化として、観光客で大いに繁栄している。

第六は、情報である。新生友の会事務局職員の方が、事前に、観光先の歴史や文化、観光名所や特産品の情報を収集し、分かりやすい情報誌にまとめ、全員に配布していただいていることである。資料を見ているだけで半分以上旅をした気持ちになる。また、添乗員の方が、旅先の交通情報等を頻繁に収集し、瞬時に提供していただけるのも安心して旅ができる大切な条件といえる。

最後は、お天気である。屋外でのイベントの大半がお天気に左右される。旅の前日には、テルテル坊主をぶら下げたい気持ちになる。今回は、少し雨に降られたが、夜やバスの中だけであまり影響はなかった。参加者の精進がよかったためと感謝している。

何時ものことながら、マナーを守っていただいた参加者の皆様をはじめ、添乗員の心配り、特に、資料作成や連絡にご尽力いただいた新生兵庫友の会事務局の皆様にお礼申し上げます。来年も、楽しい旅を計画したいと存じますので、格別のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 同好会だより

### □俳句同好会

- ・と き 10月4日(土) 13時～
- ・と ころ 職員会館2階 203号室
- ・兼 題 長月・秋刀魚・木の実
- ・その他 欠席の方は佐藤源太郎までご連絡下さい。

### □男の料理教室同好会

- ・と き 10月11日(土) 13時30分～
- ・と ころ 「むぎっこ」TEL 078-333-0628  
神戸市中央区下山手通3、シエンビル403号室
- ・会 費 3,000円(当日徴収)  
～10月の教室～

- ①さんまと根菜のトマト煮②さんまのカルパッチョ  
③山クラゲと夏野菜の和え物 ④土びん蒸し  
⑤きゅうりのきゅうちゃんの作り方

### □写真同好会 ～10月は例会～

10月の例会は会場の都合により第2土曜日に変更致しました。お間違いのない様ご出席願います。

- ・と き 10月11日(土)
- ・と ころ 職員会館 2階 207号室
- ・お願い 作品LL版5点以内持参
- ・追 伸 11月撮影会の日時、場所等の選定を  
よろしくお願い致します。

### □テニス同好会

- ・と き 10月9日、23日(木)  
午後1時～5時
- ・と ころ 神戸ローンテニス倶楽部  
神戸市中央区宮本通1-1-1  
Tel: 078-221-2383, 078-291-0809
- ・申込み 参加希望の方は阿部(078-792-0586)まで  
ご連絡ください。

### □ワイン同好会

- ・と き 10月17日(金) 18時10分～
- ・と ころ ワインセラー「ヒラオカ」TEL 341-2563
- ・会 費 3,000円
- ・テーマ 秋の味覚を楽しむワイン
- ・申込みは同封のハガキで。

### □ハイキング同好会

#### 戦国ロマン漂う町、安土へ

織田信長が拠点として築いた絢爛豪華な安土城は、完成のわずか3年後、本能寺の変で焼け落ちた。その面影は、今となっては城跡の石垣や城郭資料館などで想像するほかない。今回は、仲秋の安土を強者どもが夢の跡を偲んで歩きます。多数のご参加をお待ちしております。

- ・と き 10月12日(日) 10時30分集合
- ・集 合 場 所 JR安土駅、改札口前
- ・行 程 JR安土駅→城郭資料館→信長の館→安土城考古博物館→大手門口→大手道→伝前田利家邸跡→伝羽柴秀吉邸跡→摠見寺→黒金門跡→信長廟→天主台→セナリヨ跡→活津彦根神社→JR安土駅(解散)
- ・交 通 JR明石(新快速)8:19→三宮8:35→  
芦屋8:44→大阪9:00→京都9:29乗換え  
9:37(快速)→安土10:21
- ・その他 小雨決行、弁当持参

### □麻雀同好会

秋季恒例の麻雀大会を下記のとおり計画いたしました。競馬菊花賞の資金確保のためにも、是非ご参加願います。

- ・と き 10月25日(土) 12時50分集合  
13時00分～(スタート)
- ・と ころ 麻雀クラブ「寿利(じゅり)」  
鯉川ビル5階 JR元町駅東口北側  
Tel: 078-332-0355
- ・会 費 2,000円(当日徴収)
- ・申込み 同封のはがきで10月18日(土)迄に。

会 員 短 信

- 新会員 泉 明 〒662-0841 TEL0798-67-6247  
 西宮市両度町 3-1-1003  
 勤務先：兵庫県森林土木協会
- 田中 明 〒569-1022 TEL072-688-4727  
 高槻市日吉台六番町 39-5  
 勤務先：兵庫県木材業協同組合連合会
- 堀元忠志 〒658-0052 TEL078-821-8018  
 神戸市東灘区住吉東町 3-15-25  
 勤務先：小林聖心女子学院
- 八橋忠良 〒673-0865 TEL078-917-0316  
 明石市大蔵谷清水 537-4  
 勤務先：兵庫県漁港協会

訃 報 謹んでご冥福をお祈りします。

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 猪澤 徳忠さん | 7月25日 | (75歳) |
| 黒田 壽一さん | 8月3日  | (81歳) |
| 伊藤 豊さん  | 9月4日  | (74歳) |
| 磯部 均さん  | 9月8日  | (76歳) |



井戸知事さんの「街頭トーク」

今回は10月3日(金)朝  
 JR・山陽明石駅南側歩道上で

8月29日(金)午前7時45分より、JR川西池田駅北側で約30分間県内情勢について県民に語りかけました。今回は10月3日(金)午前7時45分から8時15分までJR・山陽明石駅南側歩道上で実施予定です。ご参集の方は事前に予定変更の有無を事務局までお問い合わせください。

第一五五回 颯 句 会 (平成二十年九月六日、十二名、六十句)

(兼題) 萩、夜長

選者 盛岡翠月

天 賞

身を添へて母の爪きる夜長かな

佐藤げんたろう

(評)「源太郎か、よう帰ってきんさーた、アトでまた爪を切っておくれナア」と母の声。身を添え母の手をおし頂くように爪を切る。太かった母の腕も体も細く小さくなったと思わず涙が：母子無言のまま長い夜は更けてゆく。孝心至福の一夜をさらりと句に詠んだ。母を恋うに遠くの中江藤樹、野口英世、石川啄木などに学ばずとも、記憶に新しい特攻隊員の遺書もやはり宛名は母上様が多い。作者もわが母こそ日本一だと讃仰し万感をこめ「身を添へて」と謳ったのである。聞けば母御はこの一カ月後に逝かれたとか。嗚呼！

戦なくわんおん堂の萩明り

打越碧山

(評)いきなり「戦なし」と平和の喜びを謳いあげ想を抜けておいて、萩明りに囲まれて人々の願いをお聞き下さる観音堂を配した。声なき園の声と萩明りが響き合つて、人間誰もが希求する平和物語に誘いこんだ。静かながらぐいと迫る秋思。掲出句は湖北での作とか。賤ヶ岳、小谷、姉川、一乗谷と湖北も戦に明け暮れたが、いまその跡に佇めば平和の尊さが身に沁みる。

地 賞

乱れ萩乱れし中の條理かな

中西森眞木

山羊を飼ふ峠茶屋あり萩の風

西條秋泉

人 賞

萩と呼び萩を慕ひしひとの逝く

安平純月

心音のほかものねのなき夜長

森仙游

鐘を打つ音にもこぼれ萩の花

谷関邑

幾許や妻と語らふ長き夜

森精歩

窯出しの壺びしびしと夜長かな

上原まさ

航跡の彼方にどっかと夜長かな

本原まさを

病める姉そのことばかり長き夜

田下汀藻

風温し萩の咲くのは何時のこと

外山公望

選者吟

生きること即ち萩のたわみかな